

関節可動域(ROM)と筋力テスト(MMT) (この表は必要な部分を記入)

筋力テスト()	関節可動域	筋力テスト()	筋力テスト()	関節可動域	筋力テスト()
↓	↓	↓	↓	↓	↓
180 150 120 90 60 30 0 30 60 90		90 60 30 0 30 60 90 120 150 180			
()前屈		後屈()	頸 ()左屈		右屈()
()前屈		後屈()	体幹 ()左屈		右屈()
右 180 150 120 90 60 30 0 30 60 90		伸屈()	()伸屈		左 90 60 30 0 30 60 90 120 150 180
()屈曲		内転()	肩 ()内転		屈曲()
()外転		内旋()	()内旋		外転()
()外旋		伸屈()	肘 ()伸屈		屈曲()
()屈曲		回内()	前腕 ()回内		回外()
()回外		背屈()	手 ()背屈		掌屈()
()掌屈		伸屈()	()伸屈		母 ()伸屈
()屈曲		伸屈()	()伸屈		示 ()伸屈
()屈曲		伸屈()	()伸屈		中 ()伸屈
()屈曲		伸屈()	()伸屈		環 ()伸屈
()屈曲		伸屈()	()伸屈		小 ()伸屈
()屈曲		伸屈()	()伸屈		母 ()伸屈
()屈曲		伸屈()	()伸屈		示 ()伸屈
()屈曲		伸屈()	()伸屈		中 ()伸屈
()屈曲		伸屈()	()伸屈		環 ()伸屈
()屈曲		伸屈()	()伸屈		小 ()伸屈
180 150 120 90 60 30 0 30 60 90		90 60 30 0 30 60 90 120 150 180			
()屈曲		伸屈()	()伸屈		屈曲()
()外転		内転()	股 ()内転		外転()
()外旋		内旋()	()内旋		外旋()
()屈曲		伸屈()	膝 ()伸屈		屈曲()
()底屈		背屈()	足 ()背屈		底屈()

備考

※ 注

1. 関節可動域は、他動的可動域を原則とする。
2. 関節可動域は、基本肢位を0度とする日本整形外科学会、日本リハビリテーション医学会の指定する表示法とする。
3. 関節可動域の図示は  のように両端に太線を引き、その間を矢印で結ぶ。強直の場合は、強直肢位に () を引く。
4. 筋力については、表()内に×△○印を記入する。

- ×印は、筋力が消失又は著減(筋力0,1,2該当)
 △印は、筋力半減(筋力3該当)
 ○印は、筋力正常又はやや減(筋力4,5該当)
5. (PIP)の項で母指は(IP)関節を指す。
 6. DIPその他対立内外転等の表示は必要に応じ備考欄を用いる。
 7. 図中塗りつぶした部分は参考的正常範囲外の部分で、反張膝等の異常可動はこの部分にはみ出し記入となる。

例示 (×)伸屈  屈曲(△)